

20260825_始業式の話

みなさん、おはようございます。校長の吉岡です。

今日からいよいよ2学期がスタートしました。長かった夏休みも終わり、今日から学校での生活が再び始まります。まずは、こうしてみなさんの元気な姿を見ることができて、とてもうれしい気持ちになりました。

さて、1学期の終業式で、夏休みに入るにあたって、取り組んでほしいこと、考えてほしいこととして伝えた「四つのこと」を覚えていますか。

一つ目は、苦手なことへの「挑戦」。

二つ目は、「つながり」を大切にすること。

三つ目は、学校の中でも外でも忘れてはいけない「九中生としての自覚」。

そして四つ目は、「健康第一」でした。

この夏、みなさんはどう過ごしたでしょうか。完璧にできた人ばかりではないかもしれませんが。「もっとこうすればよかった」と後悔がある人もいるでしょう。しかし、たとえ小さなことでも「まずやってみた」という経験があるならば、それは確実にみなさんの成長の糧となっています。私の好きな言葉「やらなければできない」の精神で踏み出したその一歩を、まずは自分自身で認めて、ほめてあげてください。

また、今日から始まる2学期は、1年の中で最も長く、そして体育大会や合唱コンクールの準備といった大きな行事が目白押しです。これらの行事を成功させるために欠かせないのが、本校の教育目標である「しなやかに つよく」という姿勢です。

行事の準備や練習では、意見がぶつかったり、思い通りにいかなかったりすることもあるでしょう。そんな時こそ、多様な考え方を認め、柔軟に対応する「しなやかさ」を発揮してください。一人ではできないことも、仲間と協力し、より深い「つながり」を築くことで、困難を乗り越える「つよさ」へと変わります。

例えば、体育大会は、一人で行うことはできません。競技での協力は元より、クラスの旗づくりや大会を運営する係など、さまざまな人が協力し合わなければ、よい体育大会にすることはできません。そのためにはお互いにリスペクトすることが大切です。

私たちは九中で生徒と先生を合わせて約1,100人が集団生活を送っています。そして、クラスの仲間、先生方、そして家族など、みなさんのことを支え、見守ってくれている人がたくさんいます。ぜひ、「ありがとう」と声に出してみてください。その一言が、さらに良い「つながり」を育んでくれ、その一言が、誰にとっても安心して居心地の良い、より良い九中を作っていく原動力になります。

さらに、集団生活では、お互いが気持ちよく過ごせるように、相手の気持ちを考えて行動すること、少しの我慢や「お互い様」という気持ちで譲り合うことが大切です。

夏休み中、「おはようございます」とあいさつをしてくれる人がたくさんいてとても心地よかったです。ぜひあいさつを返すだけでなく、自分からできるよう、今一度意識してみてください。

そして、日々の生活においては、引き続き「九中生としての自覚」を強く持ってください。みなさんの行動一つひとつが、九中全体の、そして共に学ぶ仲間の評判に繋がっています。ルールやマナーを守めることは、お互いが気持ちよく過ごすための「思いやり」です。自分たちで自分たちの学校を誇れるものにしていきましょう。

特に３年生のみなさんは、この２学期は、自分の進路という大きな目標に向かって、具体的に踏み出す重要な時期です。不安になることもあるかもしれませんが、目標に向かって一つひとつ着実に、周りとのつながりを大切に粘り強く進んでいくことを期待しています。

最後になりますが、暦の上では秋とはいえ、まだ厳しい暑さが続きます。終業式でも話した通り、「健康第一」です。熱中症対策や規則正しい生活習慣を今一度徹底し、無理をせず体調管理に努めてください。

この２学期、みなさんがさまざまなことに果敢に挑戦し、多くの「つながり」の中で心身ともに大きく成長していきましょう。そして、今学期も、共に頑張っていきましょう。

これで、始業式の話が終わります。